一般質問　市民の声を市政に

トマト黄化葉巻病について

橋本設世

問 トマト黄化葉巻病はシルバーリーフコナジラミが媒介するウイルスで起こる病気である。防除対策としては、地域ぐるみの防除活動が大切だ。特に家庭菜園トマトは病原ウイルスの温床になっている可能性があるので地域住民に防除情報を提供し、除草、殺虫剤散布、発病株の早期処分に理解と協力をお願いすることが一番重要である。今年度発生状況と、今後の対策は。

答 16戸で確認されております。生産者への説明会を行い、トマト苗の販売店等でポスターの掲示、チラシの配布を行っていきます。

青淵公園周辺整備について

問 今年度青淵橋から西側の広場とともに管理道路も整備される予定である。市郎橋北側からの入口が狭いままだ。西側からの進入路について、平成13年第3回定例会において公園の進捗に合わせ担当課と協議し、実施したいとの答弁があった。それぞれの進捗状況はどうか。

答 東側については、協力が得られるよう交渉していきます。西側について、市の財政状況も大変厳しく道路整備も市民の要望に追いつかない状況にあり、財政状況や緊急性、地域バランス、地元の優先順位を考慮し整備したいと思います。

青淵公園

問 豊里支会、八基支会との市長対話会で要望があった、遊歩道を小山川を経て青淵公園まで延伸できないか。

答 長期的な整備計画を有しており、今後検討します。

深谷市畠山・本田の重要施策について問う

永田勝彦

問 深谷市畠山上郷地区六堰頭首工関連9万㎡の優良農地返還早期決着について聞きたい。

答 全面的に暗渠排水等手直し工事を行っており19年2月完了です。しかし台風シーズンを経過しないと、排水状態の確認ができません。「状態が良好でない場合は困る」の地権者の要望があるため、大里農地防災事務所と協議した結果、地元地権者と連絡を密に状態を見極めながら解決していきたいと存じます。

問 深谷市畠山～本田を経由する県道熊谷・寄居線の幅員確保は。

答 左記3項目につき市として県へ強く働きかけてまいります。

(1)重忠公園入口信号から熊谷方面への狭隘部分

(2)本畠郵便局北側の歩道確保

(3)川本春日丘工業団地入口看板信号先左側延長25ｍの歩道確保

問 吉野川魚道整備及び内田橋から万年橋までの舗装工事について聞きたい。

吉野川

答 19年度予算要求提出中。実施に向け働きかけてまいります。また、舗装工事は一部水路敷のため県へ交渉し進めます。

問 鹿島古墳群南の道路舗装について聞きたい。

答 優先順位を勘案し進めます。

問 「忠恕のこころ・まごころと思いやり」この標語を深谷市に広めたら。

答 渋沢栄一翁の顕彰事業を通じ市民皆様に栄一翁の「忠恕」の精神を広く伝えていきたいと存じます。

農業振興への対策と対応について

松本政義

問 輸入食料品の増大・食料危機時の需給の根幹を成す食料自給率向上の停頓・後継者離れによる就業者の高齢化等をはじめ、農業に対する問題は多大で、農業経営者は深刻な影響を被っている。

市の農業振興への対策と対応はどうなっているのか。

答 現在の基幹産物の付加価値を高めるために消費拡大PR事業を引き続き実施し、生産者の経営を安定させることが最重要であると認識しております。また、農産物の安全、安心対策事業を従来どおり展開し、消費者の要望に対応してまいります。

農業に対しての相談コーナーを、平成18年度中に農業振興課内に設置して農業後継者をはじめ、若い人達の希望、意見等も取り入れ、関係各機関、団体等の協力を得ながら、農業の振興を推進してまいります。

ねぎ畑

平成19年度予算規模編成方針について

中村泰典

問 配分の概要、合併特例債の起債事業、金額は。

答 今回の編成から試行的に予算の枠配分化に取り組んでいます。予算規模は、今後の作業の中で検討します。合併特例債は積極的に活用しますが、借金ですので慎重に対応してまいります。

問 合併1年の総括、評価は。

答 生活弱者への対応は見直す必要があるものは適切に対応してまいります。特色ある地域振興策は新市のまちづくりを進めるうえで重要なことと考えております。忠恕のこころは各種団体、市民も含め「和」をもって新たなまちづくりに取り組みます。市長と住民との直接的なコミュニケーションの場として自治会主催の市長と語る集い・中学生との対話会・子ども議会・市長への手紙など行っています。総合支所空室の活用は現在も一部利用活用しております。総合的な自己採点は1月より順次調査、実施いたします。

問 学童保育の補助、支援は。

答 現在学童保育室は、全小学校区に設置されております。民営保育室には国、県の補助に加え深谷市独自の補助制度を設けております。

問 深谷・嵐山線整備要望。

答 バイパス・旧140号間は平成25年完成予定ですが第2期工区も引き続き事業採択するよう県に強く要望します。

問 商工会の存在意義、今後の指導方針について。

答 商工会は地域密着の活動をしてまいりました。また法人格を有しておりますので、自主性を尊重し見守っていきます。

岡部商工会館

学童保育における養護児童受け入れの現状・条件は？

三田部恒明

問 放課後子どもプランとの兼ね合いによる学童の見直し及び検討が進む中、深谷市における学童保育への養護児童受け入れの現状・入室条件について、また、学童指導体制について報告願いたい。

答 基本的には、養護学校児童や特殊学級児童を対象とした民間の学童保育室への受け入れをお願いしており、現在4学童に39人の児童が在籍。市内公営公設の学童保育室については基本的には障害児の受け入れを実施しておりますが、児童の状況や施設・設備、指導員数により、その都度判断をさせていただいております。指導員の配置基準として障害児6人に指導員1人、また、重度の障害児については3人に1人の配置基準。資格については保育士、児童指導員、養護教諭、障害児の指導に知識経験を有するものとなっております。

問 原則は了解。しかし、現実に受け入れのお願いにあがったところ、保護者が立ち上げたらとのこと。ほか、①公営と民間との利用料の格差、②生活圏近接地域にあるべき、③公設における指導員配置が適切でない等の問題点がある。公設学童における体制を整えるべきと考えるが？

岡部学童保育室

答 県放課後児童クラブ運営基準に基づいて受け入れ判定をしており、障害児童の受け入れをしております。このことを広報等で周知してまいります。指導の体制をどう整えるかが今後の課題であり、検討してまいります。

〈議会あれこれ　こたえ…議員の定数は、市町村の人口規模に応じて、地方自治法で定める数を超えない範囲内において条例で定めることとなっており、深谷市議会では34人となっています。〉